

ふりがな 氏 名	もろい まなぶ 諸井 学 (文芸)
功績概要	平成18年 同人誌「播火」60号から参加 平成27年 『種の記憶』出版 平成30年 『ガラス玉遊戯』出版 姫路地方文化団体連絡協議会 黒川録朗賞 令和2年 『神南備山のほととぎす』出版 令和4年 現代詩「Lingvo オクト M+」参加 同人誌「文芸日女道」652号から参加 同人誌「姫路文学」136号から参加 令和6年 『マルクスの場合』出版 大学卒業後、家業を継ぎながら執筆活動が続ける。季刊誌『播火』に入会以後、60号から112号まで毎号小説を発表。20世紀の西欧文学をはじめ幅広い文学に精通しており、実験的技法による独創的な文学作品を作り上げてきた。 また、令和4年から複数の播磨地域の文芸グループに所属し、作家同士の連携を深めるとともに相互作品の研鑽に励んでいる。 令和6年発行の『マルクスの場合』では、ベケットをはじめとする文学理論、聖書、クラシック音楽など多様な世界を織り込み、多彩な仕掛けをちりばめ好評を得た。 情熱的かつ挑戦的で創意にあふれた作品は、文筆を志す者や読者に刺激を与えており、播磨地域の文化向上に大きく貢献している。